

平成21年度第2回小国町地域公共交通会議 概要

1 委員の委嘱について

平成21年12月1日から委員になって頂く東日本旅客鉄道（株）新潟支社小国駅長 関博昭氏へ委嘱状を交付した。

2 報告について

平成21年6月～11月までの6ヶ月間の金目線におけるデマンドタクシー実証運行事業の実績及び平成21年10月に実施した若山・古田・金目地区住民に対するアンケート調査の結果について事務局より報告を行った。

3 協 議

①平成22年度の町内公共交通について

はじめに現在の町内公共交通を取り巻く背景・課題を踏まえた今後の公共交通の方針について説明を行った後、以下の項目について説明した。

・金目線について

デマンドタクシー実証運行から本格運行に移行することとし、運行実績及びアンケート調査結果より、現行の本数の他、火曜日及び金曜日の正午頃に1便増便する。

・白沼線について

デマンドタクシーによる実証運行を6月1日から実施することとし、水曜日と金曜日に現行の町営バス運行時間帯で運行する。

・足中線について

白沼線と同様にデマンドタクシーによる実証運行を6月1日から実施することとし、運行時間帯については現行の町営バスと同時間帯とする。

・北部線の路線変更について

旭町地区の方が町営バスを利用して通院する場合の町立病院に到着する時間が他の路線に比べて遅くこれを改善するため、朝の北部線について旭町を経由することとし、併せて幸町地区も経由することとする。

・東部線の路線変更について

現在の運行経路は大石地区等から伊佐領小学校に通学する生徒を考慮したルートとなっているが、現在町営バスで伊佐領小学校に通学する生徒がいないため、運行の効

率化を図るため、伊佐領、箱の口を周回する経路から、往復ともに子持ち峠を経由する経路とする。

以上の説明を行った後、北部線の経路変更について以下の質疑応答があった。

【質疑応答】

委員 田沢頭への経路については検討したか。

事務局 原案の経路変更に伴って、対象の朝の北部線が町立病院に到着する時間は５分程度遅くなることとなるが、同便が田沢頭を経由することとなると１５分程度遅くなることとなる。現在のところ田沢頭地区から特に要望が出ていないこともあり、北部線の田沢頭経由は行わないこととした。

上記の質疑応答の後、各路線の方針、経路変更については意義無く承認された。

②町営バス金目線の廃止について

金目線のデマンドタクシーが本年度の実証運行から来年度の本格運行に移行することが承認されたことに伴い、現在休止の取り扱いとしている町営バス金目線について廃止することとし、意義無く承認された。

③小国町地域公共交通総合連携計画の変更について

平成２２年度の町内公共交通の方針が承認されたことにより、平成２０年度に策定した小国町地域公共交通総合連携計画の内容と相違がある箇所について変更を行うこととした。なお、変更箇所、変更内容等については後日文書協議として各委員に諮ることとした。

４ その他について

以下の質疑応答があった。

委員 平成２２年度から玉川小学校が統合されることに伴う生徒の送迎についてはどうなるのか。

事務局 小玉川、玉川沿線については今年度と同様に町営バスで無料で送迎し、町営バス運行時間帯と合わない場合のみスクールバスを運行する。足中方面についてはスクールバスで送迎することとする。

委員 連携計画においてＮＰＯや商工会等を含めた取り組みを行うこととなっているが、進捗状況はどうか。

事務局 公共交通対策の目標として行政と地域住民の連携・協働を掲げているが、町民

の公共交通に対する意識がなかなか連携、協働というところまで醸成が図れていないこともあり現在のところ着手できていない。

委員 通学にかかる費用が地区によって有料無料の差異があることについて、どのように改善していくのか。

事務局 現在のところ、学校統合を実施した地区については通学費が無料という取り扱いとしており、通学費の全町一律無料化については全町的に統合が進んだ後に議論していきたい。

その他、デマンドタクシーの利用の仕方等について委員から質問があり、事務局より回答した。

なお、会議資料については別添のとおり